

平成 29 年度 東濃支部症例検討会・活動報告会

日時：平成 29 年 12 月 10 日(日) 9:20~12:30

場所：土岐市立総合病院 核医学棟大会議室

内容：①症例検討会

「既往に脳挫傷後遺症があり、今回転倒により左大腿骨骨折を呈した症例 -在宅復帰に向けて-」
河村病院 畠山 春香

「既往に大脳皮質基底核変性症があり、今回鎖骨骨折を受傷した症例
-安定した立ち上がり動作獲得を目指して-」

河村病院 岡崎 友希

「右被殻出血を呈し、当院短時間通所リハビリテーションを利用している維持期脳卒中者
-左足部引っかかり軽減と転倒予防を目指して-」

河村病院 坂井 沙央理

「右大腿骨転子部骨折後の症例における低栄養の影響について」

医療法人社団日新会 城山病院 伊藤 精英

「女子陸上選手における内側側副靭帯損傷を呈した一症例 -Knee in toe out に着目して-」
つねだ整形外科・皮ふ科 野知里 舞

「中津川市における野球肘検診の取り組みと課題 -超音波検査と圧痛検査に着目して-」

医療法人社団日新会 城山病院 今井雅士

②活動報告会

「中津川市における野球肘検診の活動報告」

訪問看護ステーション高井 高崎 憲博

「地域包括ケアシステムの中での介護予防事業について」

恵那医院リハビリケアセンター 小島 健嗣

「医療と介護の連携 -介護認定審査会から見える課題-」

特別養護老人ホームシクラメン 原 司

12 月 10 日に開催された東濃支部症例検討会・活動報告会について、以下に報告致します。

参加者はスタッフ合わせて 30 名で、他支部からの発表・参加者が多かったのが特徴でした。今回は初の試みとして、症例発表前に座長によるプチレクチャーを行って頂きました。症例報告については、疾患は様々で難渋例も成功例もあり、バラエティーに富んだ内容でした。質疑応答も活発に行われたこと、プチレクチャーも好評だったことから、充実した内容だったと思います。

活動報告については、職域拡大に努める 3 名の先生方の精力的な活動を目の当たりにして、刺激になった参加者が多かったのではないのでしょうか。今後の活動の継続、続報を楽しみにしています。

全体を通じて、改めてアウトプットすることは、自己研鑽のために非常に重要であると感じました。

最後に、座長を務めて頂きました先生方、症例発表をして頂いた先生方、準備に携わってくれたスタッフの皆様に心より御礼申し上げます。



文責：東濃支部学術研修担当 浅井智也